



校長室からこんにちは

宇都宮市立清原中学校



令和2年11月2日

No. 8 文責：塩谷勇直

清原チャンネル（文化祭代替企画）は内容等のクオリティがすごい！！

今年は、文化祭の代替企画として、例年体育館で実施している各種発表の部を主としてビデオ映像の放映によって行う「清原チャンネル」と、生徒会専門委員会や各教科による「研究・作品展示」の二本立てで行い、合唱コンクールは後日学年ごとの合唱発表会として実施することになりました。

10月24日（土）の「清原チャンネル」の上映内容は実行委員や参加した多くの生徒の努力や苦労、喜び、やる気など、様々な思いが感じ取れるすばらしい内容で、表現方法も通常のテレビ番組を思わせる各種技術が駆使されており、生徒のみなさんも画面にくぎ付けになっていたようです。また、映像発表にも関わらず、時折、各クラスからは「大笑い」、「大歓声」、「盛大な拍手」が沸き上がり、生徒のみなさんは、2時間程度の時間でしたが発表者の頑張りを感じつつ思いっきり楽しむことができたようです。これらを例年通りの体育館ライブで発表できたら圧巻だったと思います。

保護者のみなさんに参観いただけなかったのは誠に残念でしたが、下の写真はTV画像を撮影したもので画質はよくないのですが、少しでも未公開の「清原チャンネル」の様子をお知らせできれば幸いです。加えて、ビデオ映像を見ていただければ「これ本当に生徒が作っているの？」とその質の高さに驚かれることと思うのですが、それをお見せできないのが誠に残念です。しかし、これを経験した生徒のみなさんには多くの自信や思いが残ったのではないのでしょうか。



「ボクらの歌」を歌ってみた！！



～文化活動発表会（清原チャンネル）実行委員長 植松 希彩 さんより～

今年は文化祭がなくなった。でも、生徒のみんなが盛り上がれて楽しい「清原チャンネル」にしたいと実行委員長になりました。やると決めた委員長でしたが『清原チャンネル』って何やるの？という友達からの半ば期待薄の言葉に、具体的なイメージのなかった初めの私には「みんなを盛り上げたり、楽しませたりすることが果たしてできるのか」と、不安しかありませんでした。そんな自分を不安から救ったのは「みんなで一つになる」「みんなで一つのものを作り上げる」を合言葉に励んだ、クラスでの活動と実行委員のみんななどの様々な活動でした。書道展等の展示の手伝い、清原クイズや抽選会等の進行を考え、特に有志団体による映像パフォーマンスとして実行委員みんなで『ボクらの歌』を歌ってみた」を作り上げたことが強烈な思い出となりました。『ボクらの歌』を歌ってみた」は、実行委員各人が歌に合わせるため、あるいは映像のクオリティを上げるため、みんな真剣に何回も撮影を繰り返しました。こういう気持ちが本気になるということなのですね。

意外な自分としては、「清原チャンネル」の本番はクラスの人々と見ることができたのですが、吹奏楽部の演奏の際、急にウルウルしてしまったことです。例年だったら、文化祭での発表が3年生にとっての最後の演奏になったはずなのに、今年はその機会がなくなってきつと無念だろうって、でも今日のこの放送で吹奏楽部の3年生の思いを少しでも叶えられれば…と思ってしまいました。

「清原チャンネル」の最後のあいさつを終え、教室にもどった際、みんなから「もう一回清チャン放送してよ！」「自分たちも映像パフォーマンス出ればよかった！」と言葉をかけてもらい、文化祭がなくなってもみんなでこんなに楽しく盛り上げられることを体験できて本当にやってよかったと思いました。そして、苦しい条件下でも努力や工夫をすれば意外に何でもできるという自信が出たように思います。来年の文化祭を1・2年生に託します。

* 3年生は、11月2日（月）から合唱発表会の練習が始まります。発表会は12月2日（水）です。
（3年生徒と3年教職員のみ参加の発表会になります。）

飛山城史跡公園で美化委員会清掃ボランティア活動を頑張りました！

10月21日（水）には放課後約1時間、美化委員会の約40名が飛山城史跡公園に出向き、落ち葉清掃を中心に奉仕的活動を熱心に行ってきました。とびやま歴史体験館のグリーンキーパーのみなさんからは、竹ぼうきの使い方を教えていただいたりして、その方達との交流も深めることができました。次回は11月11日（水）に実施されます。



美術部を始め、新しい分野でも頑張っています！

☆昨年度に生徒会が応募した「第三十一回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」において団体応募賞の受賞と個人2名の入賞・入選がありました。このコンテストは応募作品数数日本一の創作俳句コンテストで、今回選出の佳作特別賞は約195万5千句応募の中から2千点選出された入賞作品の中の一つです。

〔佳作特別賞：大橋 小春（3年）「弓を引き こころ落ちつく セミの声」〕

〔佳作（入選）：高橋 智也（2年）「自はん機で 手袋がわり 熱い缶」〕

☆美術部員が「やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり」ポスターコンクール〈A〉及び「下水道いろいろコンクール」〈B〉で上位入賞（1・2位相当）を果たしました。

A〔市長賞：森 紘花（3年）、推進協議会長賞：向田有之介（1年）〕

B〔最優秀賞：齋藤 慎実（1年）、優秀賞：吉田 彩（2年）〕

◆◆暗くなるのが早く、交通事故の危険性が高い。願う！交通事故「0（ゼロ）」◆◆

- ・ 交通ルールやマナーを守って、交通事故のリスクを減らす。
- ・ 歩道や自転車通行帯を一列で通るなど、自動車が接触してしまう危険性を減らす。
- ・ 自転車は必ず点灯し、反射ベストの確実な着用で自分の居場所を車に知らせる。
- ・ 危険箇所を再確認し、一時停止や左右確認の励行で、不注意な自動車等との事故が起こらないようにする。（自分が规则的に正しくてもけが等の可能性が高いのは、歩行者や自転車です。）
- ・ 自転車側が加害者となる交通事故が目立っています。自転車保険への加入を推奨します。

